

社会福祉法人 三徳会 だいじの支援

『だいじ』という名前は仏教の大慈大悲という言葉から取りました。
慈悲の心を持った人に育ってほしいという願いを込めています。

作成日 令和8年1月28日

営業時間：午前8時30分～午後5時30分
送迎の有無：有

事業内容：多機能型（児童発達支援、
放課後等デイサービス、保育所
等訪問支援）

基本的な生活習慣・生活リズム

あいさつやマナー、適切な伝え方・・・
時間を決めて遊びを楽しむ、お手伝い、当番活動、
おやつ、昼食、
トイレの練習、手洗い、着脱、物の始末、片付け
等

個別活動

宿題、課題、玩具遊び、DVD、ゲーム、
YouTube、製作、運動等、好ましい
余暇の形成や運動発達の促進

保育所等訪問支援

学校、保育所・幼稚園、
仲よし会等を訪問し、環境調整や
情報交換等を行う
訪問の報告を保護者に行う

行事

夏祭り、ハロウィン、クリスマス、
園児を招いてお楽しみ会等

小集団活動

外遊び、運動遊び、お出かけ、
カードゲーム、ボードゲーム、ま
まごと、製作、畑活動、季節の
行事やイベント等

文字、数、知識

課題、宿題、作業療法士との活動

お絵かき、パズル、構成遊び、地図
時計、タイマー、歴史、植物の栽培
や収穫等

移行支援

情報提供・連絡調整等を行い、移行
を支援する

家庭支援

ご家庭との連絡、情報交換、相談、
保護者会、育児講座等を行う

職員との関わり

- ☆生活や遊びの場面での会話、遊び相手
- ☆作業療法士や言語聴覚士との時間（先生とお勉強）
- ☆職員と一緒に製作、職員の用意したテーマや教材による製作や飾り付け
- ☆職員に見守られて小集団遊び
- ☆自他の感情を学ぶ等

だいじの支援の基本方針

- ☆職員との信頼関係を築き、安心できる大人との関わりを足がかりに、友だちや異年齢の子どもと関わりを持つ
- ☆必要に応じた構造化、視覚的提示等の環境調整を行う
- ☆自立に向けて一人一人に合わせて支援する
- ☆好ましくない行動は原因や要因を評価して適切に対応する
- ☆個別支援計画に基づいて、保育士、作業療法士、児童指導員、言語聴覚士、公認心理士等がチームで支援する。
- ☆ご家庭や学校・園・仲よし会・相談支援事業所・自治体等と連携して支援を行う。

アセスメント

通常のアセスメントの他、必要
やご希望に応じて、指示理解のア
セスメント、感覚のアセスメン
ト、知能検査(公認心理士)、言語
発達の検査(言語聴覚士)等を行
います。

職員の質の向上

所内研修及び外部の研修を活用し、
全職員の質の向上を図っています。

